



テニピンを楽しむ小学生（県テニス協会提供）

# テニスと卓球組み合わせ

県テニス協会は、テニスと卓球（ピンポン）を組み合わせた「テニピン」の普及に力を入れている。手にはめたラケットでスポンジボールを打ち合い、子どももプレーしやすいのが特長。新型コロナウイルスの感染が続く中、距離を取って楽しむことができ、用具の貸し出しも行っており愛好者の拡大を図っている。

（藤井俊行）

# 「テニピン」楽しんで

## 県テニス協会が普及へ力 運動苦手な子も簡単に

テニピンは、17年前に東京都の小学校教諭が考案。縦10センチ、横5センチのコートに高さ70センチのネットを張り、卓球のダブルスのように同じチームの人が交互にボールを打つ。ラケットのサイズや素材は自由で、段ボールの手作り品も使える。

2017年度に改定され

た小学校学習指導要領解説体育編で、バドミントンやテニスを基に簡易化したゲームが例示され、全国各地の学校やイベントで行われるようになってきた。県協会は、18年からテニピンのルールや用具を紹介するチラシを配布し実演会を開催。これまでに県東部の小学校の授業や放課後児童クラブで実践された。安来市立千神小学校（安来市安来町）では、6月下旬から6年生の授業で10回実施。児童はラケット作りか

**江の川氾濫で被害  
家屋解体費を補助**  
江津市が補正予算案提出  
江津市が24日、7月の江の川氾濫で半壊以上の被害があった家屋の解体費用の全額補助事業費3500万円を盛り込んだ、2020年度一般会計補正予算案を9月定例市議会に提出した。市議会は同日、同予算案や、江の川の治水対策の早期実現を国に求める意見書案など22議案を原案通り可決、認定して閉会した。

## 忘新年会使用施設の領収書 共通利用券と交換へ

津和野町は、新型コロナウイルスで落ち込む地元消費の刺激策として、忘新年会で利用した飲食店、宿泊施設の領収書を、町内で使える共通利用券と交換する事業「忘年会・新年会応援キャンペーン」を行う。町内の飲食・宿泊施設は4～6月の利用客は、前年比34%も減少。年末年始の消費刺激策のキャンペーンは12月1日から1月31日まで、4人以上、1人当りの町議会全員協議会で説明3千円以上利用などを条件とした。（石倉俊直）

ら行い、勝つための作戦を考えながら取り組んだ。田辺誠太教諭(24)は「運動が苦手な子も楽しそうに活動していた。授業に取り入れやすい」と話す。日本テニス協会も数量限定で希望する小学校に用具を無償配布することを決めた。県協会の芦山洋子副理事長(41)は「テニピンは大掛かりな準備もいらず簡単にできる。テニスを身近に感じることにつながればうれしい」と話した。

市は、被災家屋の解体費用補助事業で、財源として一般財源とともに、18年7月の西日本豪雨では半壊以上の家屋を含め補助対象にはならないと判断して活用しなかった国の補助制度を活用。環境省に補助基準を照会した上で、対象となることを確認した。事業費は、半壊以上として罹災証明書を交付した48棟のうち10棟程度の申請を見込み、1棟当たり300万円として算出した。同補正予算は、市内飲食店で使える50%のプレミアム

## 魚業実習向け出港



1カ月の魚業実習に出発する浜田水産高校の生徒

△付き商品券発行事業費1900万円などを含む総額8400万円。補正後の総額は前年同期比32・1%増の214億8200万円。（福新大雄）